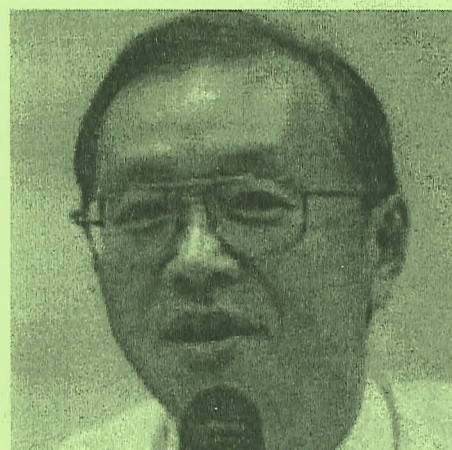


風の会・公開学習会 VOL.5

「これからの原発問題を考える」  
—電力小売全面自由化、  
そして核廃棄物問題など—  
講師:長谷川公一さん



(東北大学大学院文学研究科教授、  
社会学博士。専門は、環境社会学、  
社会運動論、市民社会論)

日時:2015年6月13日(土)18時30分~20時30分  
会場:仙台市戦災復興記念館4階第1会議室(定員60人)

参加費:300円

主催:みやぎ脱原発・風の会

(連絡先 090-8819-9920 館脇 hag07314@nifty.ne.jp)

川内原発や高浜原発の再稼働を皮切りに、政府は原発の「復活」を狙っています。ただ、福島原発事故後は世論が再稼働を許していないだけではなく、制度の上でも原発・エネルギーについて事故以前から大きく変化しようとしています。そうした微妙な立ち位置にある原発再稼働問題を、2016年の電力小売り市場の自由化、電力システム改革、日米原子力協定(2018年更新期限)の更新問題、日本学術会議による高レベル放射性廃棄物の「暫定保管」案など、最新の状況を踏まえて、多面的に検討していきたいと考えます。講師にはこの問題の第一人者である長谷川先生をお招きしました。マクロな政策の視点から原発・エネルギーについて改めて捉える絶好の機会ですので、ぜひご参加ください。

(主な内容)

- ・政府案 2030年原発比率20~22%の根拠と問題点
- ・電力自由化・電力システム改革の原発への影響
  - 1) 原発再稼働への影響
  - 2) 六ヶ所村再処理工場への影響
- ・日米原子力協定(2018年更新期限)の更新をめぐって
- ・高レベル放射性廃棄物の「暫定保管」案をめぐって